



エンドユーザ CAPF プロファイル

この章では、Unified Communications Manager 一括管理ツールを使用して、Unified Communications Manager データベース内の既存のエンドユーザーに CAPF プロファイルを追加する方法について説明します。

- [エンドユーザ CAPF プロファイルの挿入 \(1 ページ\)](#)
- [エンドユーザ CAPF プロファイルの削除 \(2 ページ\)](#)
- [エンドユーザ CAPF プロファイルのエクスポート \(3 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシート エンドユーザ CAPF プロファイルのフィールドの説明 \(5 ページ\)](#)

エンドユーザ CAPF プロファイルの挿入

CSV データファイルを使用して、既存のエンドユーザーレコードの CAPF プロファイルを Unified Communications Manager データベースに挿入できます。



注目 挿入中にレコードのいずれかの情報に問題が見つかった場合、BAT はその CAPF プロファイルレコードを挿入しません。

始める前に

エンドユーザ CAPF プロファイル固有の詳細情報を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータファイルが必要です。

次のいずれかの方法を使用して、CSV データファイルを作成できます。

- CSV 形式に変換される BAT スプレッドシート
- エンドユーザ CAPF プロファイルデータのエクスポート ファイルを生成するエクスポートユーティリティ

手順

- ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [エンドユーザ CAPF プロファイル (End User CAPF Profile)] > [エンドユーザ CAPF プロファイルの挿入 (Insert End User CAPF Profile)] の順に選択します。
[エンドユーザ CAPF プロファイル設定の挿入 (Insert End User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスから、この特定の一括トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
 - ステップ 3 既存の CAPF プロファイル設定を、挿入するファイルに含まれる情報で上書きするには、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 4 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
 - ステップ 5 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。
 - a) すぐに CAPF プロファイルを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
 - b) 後で CAPF プロファイルを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
 - ステップ 6 CAPF プロファイルを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
このジョブをスケジュールするか、アクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
- 注目 挿入中にレコードのいずれかの情報に問題が見つかった場合、BAT はその CAPF プロファイルレコードを挿入しません。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

エンドユーザ CAPF プロファイルの削除

カスタムファイルを使用して、Unified Communications Manager データベースからエンドユーザ CAPF プロファイルを削除できます。

始める前に

Cisco Unified Communications Manager Administration からエンドユーザ CAPF プロファイルを削除するには、その前に次のタスクを実行する必要があります。

- 削除する各エンドユーザ CAPF プロファイルが別々の行に配置されたテキストファイルを作成します。

- カスタムファイルを Unified Communications Manager サーバーの最初のノードにアップロードします。



(注) bat.xlt で作成された挿入トランザクションまたはエクスポートトランザクションのファイルを削除トランザクションに使用しないでください。代わりに、削除する必要があるエンドユーザ CAPF プロファイルレコードの詳細を含むカスタムファイルを作成する必要があります。削除トランザクションにはこのファイルだけを使用してください。カスタム削除ファイルでは見出しが不要で、インスタンス ID またはエンドユーザ ID の値を入力できます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [エンドユーザ CAPF プロファイル (End User CAPF Profile)] > [エンドユーザ CAPF プロファイルの削除 (Delete End User CAPF Profile)] の順に選択します。
[エンドユーザ CAPF プロファイル設定の削除 (Delete End User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [カスタムファイル内のエンドユーザ ID/インスタンス ID によるエンドユーザ CAPF プロファイルの削除 (Delete End User CAPF Profile where End User ID/ Instance ID in custom file)] ドロップダウンリスト ボックスから、エンドユーザ CAPF プロファイルの削除用にアップロードしたファイルを選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。
選択したエンドユーザ CAPF プロファイルと一緒に [ジョブ情報 (Job Information)] セクションが表示されます。
- ステップ 4** ジョブをすぐに実行するか、または後で実行するかを選択できます (対応するラジオボタンを選択します)。
- ステップ 5** エンドユーザ CAPF プロファイルを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
[ステータス (Status)] セクション内のメッセージで、ジョブが正常に送信されたことを確認できます。
- ステップ 6** [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュール追加またはアクティブ化します。

関連トピック

[ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)

エンドユーザ CAPF プロファイルのエクスポート

BAT を使用して、エンドユーザ CAPF プロファイルをエクスポートできます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [エンドユーザ CAPF プロファイル (End User CAPF Profile)] > [エンドユーザ CAPF プロファイルのエクスポート (Export End User CAPF Profile)] の順に選択します。
[エクスポートするエンドユーザ CAPF プロファイルの検索/一覧表示 (Find and List End User CAPF Profiles To Export)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [エンドユーザ CAPF プロファイルの検索 (Find End User CAPF Profile where)] ドロップダウンリストボックスで、次のオプションから照合するフィールドを選択します。
- インスタンス ID
 - エンドユーザ ID
- ステップ 3** 2 番目のドロップダウンリストボックスでは、次のオプションの中から選択します。
- ~で始まる
 - ~を含む
 - 次の文字列と完全に一致する
 - 次の文字列で終わる
 - 空である
 - ~が空ではない
- ステップ 4** [検索 (Search)] フィールドボックスに、特定のインスタンス ID やエンドユーザ ID などの検索する値を入力します。
- ステップ 5** さらにクエリを定義するには、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、[ステップ 2 \(4 ページ\)](#) ~ [ステップ 4 \(4 ページ\)](#) を繰り返します。
- ステップ 6** [検索 (Find)] をクリックします。
- 条件を満たしているレコードがすべて表示されます。1 ページあたりの項目の表示件数を変更するには、[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウンリストボックスで別の値を選択します。
- ヒント データベースに登録されているすべてのユーザを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 7** 表示されるレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。
ウィンドウに、選択したレコードが表示されます。
- ステップ 8** [次へ (Next)] をクリックします。
- [エンドユーザ CAPF プロファイル設定のエクスポート (Export End User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 9** [ファイル名 (File Name)]テキストボックスに、エクスポートするエンドユーザ CAPF ファイル名を入力します。
- ステップ 10** [ファイル形式 (File Format)]ドロップダウンリストボックスから、CAPF ファイル形式を選択します。
- ステップ 11** [ジョブ情報 (Job Information)]領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 12** エクスポート方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- すぐにエンドユーザ CAPF プロファイルをエクスポートする場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)]をクリックします。
 - 後でエンドユーザ CAPF プロファイルをエクスポートする場合は、[後で実行 (Run Later)]をクリックします。
- ステップ 13** エンドユーザ CAPF プロファイルをエクスポートするためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)]をクリックします。
- [一括管理 (Bulk Administration)]メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)]オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。
- (注) フィールドの説明については、「[BAT スプレッドシート エンドユーザ CAPF プロファイルのフィールドの説明 \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

関連トピック

- [BAT ログファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)

BAT スプレッドシート エンドユーザ CAPF プロファイルのフィールドの説明

次の表で、エンドユーザ CAPF プロファイルを挿入、削除、またはエクスポートするときに表示されるフィールドについて説明します。

BAT ユーザ インターフェイスで、アスタリスクが付いているフィールド名は必須入力項目です。アスタリスクが付いていないフィールドについては、任意指定です。

表 1: BAT 内のエンドユーザ CAPF プロファイルのフィールドの説明

フィールド	説明
[エンドユーザ ID (End User ID)]	エンドユーザのユーザ ID を入力します。
[インスタンス ID (Instance ID)]	1 ~ 128 文字の英数字 (a ~ z, A ~ Z, および 0 ~ 9) を入力します。インスタンス ID は、証明書を操作するユーザを識別します。

フィールド	説明
[証明書の操作 (Certificate Operation)]	<p>次のいずれかのオプションを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [保留中の操作なし (No Pending Operation)]: 証明書の操作が発生しない場合に表示されます。これが証明書の操作のデフォルト設定です。 • [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)]: アプリケーションに新しい証明書をインストールするか、既存のローカルで有効な証明書をアップグレードします。
[認証モード (Authentication Mode)]	<p>証明書操作の[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)]の認証モードは、「認証文字列 (By Authentication String) 」を指定します。つまり、ユーザまたは管理者が CAPF 認証文字列を [JTAPI/TSP の設定 (JTAPI/TSP Preferences)] ウィンドウで入力した場合にのみ、CAPF はローカルで有効な証明書のインストール、アップグレード、またはトラブルシューティングを行います。</p>
[認証文字列 (Authentication String)]	<p>4 ~ 10 桁の数字を入力します。</p>
[キー サイズ (ビット) (Key Size (bits))]	<p>証明書のキーサイズを選択します。デフォルト設定では 1024 を指定します。その他のオプションには 512 と 2048 があります。</p>
[操作完了期限 (Operation Completes by)]	<p>このフィールドは操作を完了する必要がある期限の日時を指定します。このフィールドはすべての証明書操作に対応しています。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。